

春野菜の現地調査を実施しました

低温や日照不足などの影響により、野菜の生育に遅れがみられ、
価格が高騰しています。

(独) 農畜産業振興機構においては、職員が産地に赴き、生育状
況を調査しましたので報告します。

問い合わせ先
(独) 農畜産業振興機構
野菜需給部 需給業務課
村野、三部
電話番号 03-3583-9482

地域名：埼玉県 本庄地域

品目名	市場シェア (東京中央) (4月(%))	生育の状況など
ねぎ	25	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬ねぎ主体の産地、春ねぎもあるがピークは過ぎた。 ・年内でできあがっているので、低温・日照不足の被害はほとんどなかった。概ね順調に出荷して大体終わっている。
きゅうり	29	<ul style="list-style-type: none"> ・半促成（無加温、3月上旬定植、4-7月収穫）が6割、促成（加温、1月中下旬定植、2月下旬～7月収穫）が4割。 ・3月の低温、日照不足でかなり生育が遅れている。木ができる時期に冷え込んだのは影響が大きい。特に半促成に影響が大きい、促成にも多少影響しているだろう。



(加温)



(無加温)





地域名：千葉県 銚子地域

品目名	市場シェア (東京中央) (4月(%))	生育の状況など
キャベツ	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3、4月の雨と低温のため、10日ぐらいの生育遅れ。 ・ 海岸の低地では比較的生育は良いが、台地の上の標高の高い地区で特に生育が遅れている。 ・ 天候次第だが、連休明けに出始める見込み。 ・ むしろ出荷が集中することを懸念している。
ねぎ	50	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋冬ねぎを4月まで出荷をしているが、雨が多いため、病気が発生し収量減。 ・ 秋冬ねぎが主で、春ねぎはもともと少ない。このため、今後出荷が増える見込みは乏しい。
きゅうり	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月定植～5月末まで収穫。 ・ 日照不足、低温のため収量減。 ・ 出荷ステージとしては、既に終盤であり、今後、出荷が増える見込みはない。
だいこん	82	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日照不足と低温のため、生育遅れ。 ・ 市場価格が良いため、先取りも進んでおり、天候が回復しても、キャベツほど収量は回復しない見込み。







地域名：茨城県 県西地域

品目名	市場シェア (東京中央) (4月(%))	生育の状況など
ねぎ	12	<ul style="list-style-type: none"> 天候定まらず、生育に遅れが出ている。出荷は連休明けから本格化。
はくさい	27	<ul style="list-style-type: none"> 気象条件の悪さで伸び悩んでおり、病害虫の影響はあまり見られないが、中早生以降の作型が日照不足や降雪の影響により5～10日ほど生育が遅れている。小玉傾向。 4月上中旬の第1次のピークは過ぎた。5月は比較的順調な出荷が見込まれる。
レタス	65	<ul style="list-style-type: none"> 昨年12月に定植してから1月は低温・乾燥、2月は雪と雨の繰り返し、3月は雨と、悪天候が続き、その後も雨・曇天と天候定まらず、結球悪く、玉小さい。一週間から10日の生育遅れ。





